

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2005-108058

(P2005-108058A)

(43) 公開日 平成17年4月21日(2005.4.21)

(51) Int. Cl.⁷

G06F 17/60

F I

G06F 17/60 1 7 4

G06F 17/60 1 6 2 A

テーマコード (参考)

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 9 頁)

(21) 出願番号

特願2003-342757 (P2003-342757)

(22) 出願日

平成15年10月1日(2003.10.1)

(71) 出願人 000005108

株式会社日立製作所
東京都千代田区丸の内一丁目6番6号

(74) 代理人 100075096

弁理士 作田 康夫

(72) 発明者 有吉 将明

東京都江東区新砂一丁目6番27号 株式会社日立製作所公共システム事業部内

(72) 発明者 岡野 信保

東京都江東区新砂一丁目6番27号 株式会社日立製作所公共システム事業部内

(54) 【発明の名称】 スケジュール管理システムと連動する議事録管理システム

(57) 【要約】

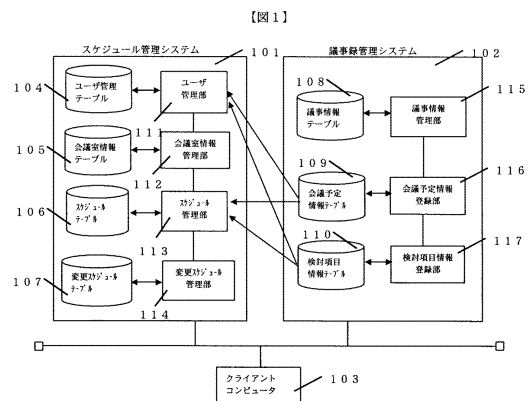
【課題】

議事録管理システムに登録された次回会議予定の情報を、スケジュール管理システムと連動してスケジュールデータを自動登録する方式と、会議室の予約を行うシステムと連動して会議室の予約を行う方式を提供する。

【解決手段】

議事録管理システムから議事録を登録すると、次回会議予定の情報が会議予定情報テーブルに登録される。その情報から自動的にスケジュール管理システムと連動して会議室の予約状況の確認、スケジュールの登録を行うことができる。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

会議の議事内容を項目と対応付けて議事録として管理する議事録管理システムにおいて、人や施設または人のみのスケジュールの管理を行うスケジュール管理システムと情報及び動作指示を送受信する手段を備え、議事録項目に次回会議の出席予定者、開催日時、開催場所の項目を備え該項目を入力した議事録を議事録管理システムに登録する手段を有し、スケジュール管理システムに該項目の情報と動作指示を前記送受信手段により送信し、スケジュール管理システムにおいて次の会議の出席予定者及び開催場所または会議の出席予定者のスケジュールデータを登録する手段を有することを特徴とするスケジュール管理システムと連動する議事録管理システム。

10

【請求項 2】

請求項 1 に記載の議事録管理システムにおいて、上記議事録に次回会議予定の変更に必要な項目を備えており、該項目を入力した議事録を議事録管理システムに前記登録手段により登録処理をした後、スケジュール管理システムに該項目の情報と動作指示を前記送受信する手段により送信することでスケジュール管理システムにより次の会議の出席予定者及び開催場所または会議の出席予定者のスケジュールデータを変更することを特徴とするスケジュール管理システムと連動する議事録管理システム。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載の議事録管理システムにおいて、上記議事録に今後の検討項目及び検討担当者及び検討期限の項目を備えており、該項目を入力した議事録を議事録管理システムに登録後に、スケジュール管理システムに該項目の情報と動作指示を前記送受信する手段により送信し、スケジュール管理システムにより検討担当者の検討期限日のスケジュール情報に検討項目を登録することを特徴とするスケジュール管理システムと連動する議事録管理システム。

20

【請求項 4】

施設のスケジュール管理を行うスケジュール管理システムと情報及び動作指示を送受信する手段を備えており、議事録管理システムにおいて登録処理をした議事録項目のうち次回開催日時と次回開催場所の情報と動作指示を前記送受信する手段により送信し、スケジュール管理システムにより施設の予約状況を確認し、会議の開催場所のスケジュールデータを登録する手段を有することを特徴とするスケジュール管理システムと連動する議事録管理システム。

30

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本発明は、議事録管理システムに関し、特に次回会議をスケジュール管理システムと連動して設定する支援機能を備えた議事録管理システムに関するものである。

【背景技術】**【0002】**

従来から議事録の作成と管理を支援する議事録管理システムは存在し、議事録中の各項目と内容に対応付けて管理し、検索や統計に利用するシステムが知られている。議事録は定型書式に則って作成されるので比較的データベース管理がしやすい書類であり、特に出席者、開催日、開催場所等の日時及び場所情報が明記されるので、個人や会議室のスケジュールとの関連付けが容易であるという特徴がある。

40

従来の議事録管理とスケジュール管理に対応付けたシステムとしては、特許文献 1 に記載のようなシステムが存在する。また、スケジュール管理と連動して会議の設定を支援するシステムとしては、特許文献 2 に記載のようなシステムが存在する。

【0003】

【特許文献 1】 特開平 9 - 4 4 5 6 1 号公報

【0004】

【特許文献 2】 特開平 9 - 9 1 3 4 1 号公報

50

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0005】

通常会議の開催においては、一つのテーマについて一回の会議で議事が終わることは少なく、複数回の会議が開催されるのが普通である。その際、次回会議の設定は議事録作成時に行われることが多い。上記従来システムのうち、特許文献1に記載のようなシステムでは、会議の企画を起点としてスケジュールに対応付けて議事録が登録されているため、過去の会議の議事録を検索する事は可能であるが、次回の会議を設定するためには今回議事録からではなく別途会議の企画から開始する必要がある。また、特許文献2に記載のようなシステムでは参加者のスケジュールの空き時間と会議室の空き時間から条件の合う日時と会議室を検索し自動的に開催日時と開催場所を決めることが可能であるが、この検索条件は別途設定する必要があり、検索条件の入力ミス等により議事録に記載された日時や場所と異なる会議室を予約してしまう場合があるという問題があった。また、議事録の作成、会議室の予約を行った後に改めて次回会議の出席予定者のスケジュールに登録しなければならない為、出席予定者が多い場合等は登録作業が煩雑となり、登録漏れ、登録内容の誤り等が生じやすく、議事録に記載された内容と齟齬をきたす場合がある。また、次回の会議の予定が変更となった場合、スケジュールの変更の運用も煩雑となる。

10

【0006】

本発明の目的は上記課題を解決し、議事録管理システムに入力した情報をスケジュール管理システムに送信し、会議の開催日時と場所を設定して参加者へのスケジュール登録を自動的に行うシステムを提供することにある。また、他の目的は次回会議予定の変更を議事録管理システムに入力し、その変更内容をスケジュール管理システムに送信して新たなスケジュールの設定と登録を行うシステムを提供することにある。

20

【課題を解決するための手段】

【0007】

上記目的を達成するため、本発明のスケジュール管理システムと連動する議事録管理システムでは、会議設定のためにスケジュール管理システムを検索して情報を登録するために必要な項目を設定し、その項目の内容をスケジュール管理システムに送信する機能を備える。その項目としては、議事録の内容に記載される次回会議予定の情報、すなわち「次回会議名」、「次回会議出席予定者」、「次回会議開催日時」、「次回会議開催場所」を設定する。このうち「次回会議名」と「次回会議出席予定者」以外はスケジュールにより可変な情報としても良い。議事録管理システムにおいてこれら全ての項目を入力し、その情報と登録依頼をスケジュール管理システムに送信し、スケジュール管理システムから登録の結果を受信する。

30

【0008】

また、上記可変な情報とした「次回会議開催日時」、「次回会議開催場所」のどちらか一方、あるいは両方を空白としてスケジュール管理システムに検索依頼を送信しても良い。ユーザと施設のスケジュールを一括管理するスケジュール管理システムの場合は、両者を空白として同時に送信しても良いが、別に管理するシステムの場合は、どちらかの情報を先に検索し、その結果に基づいて他方の情報を検索する二段階の検索依頼を行う。このように空白を含む入力情報と検索依頼コマンドをスケジュール管理システムに送信し、スケジュール管理システムから検索結果を受信する。検索結果により最適な日時と場所を選択し、議事録管理システムにおいて「次回会議開催日時」、「次回会議開催場所」として入力し、全ての入力情報と登録依頼をスケジュール管理システムに送信する。これにより、上記情報が含まれた議事録を議事録管理システムに登録したタイミングで、スケジュール管理システムにより会議出席予定者と会議室のスケジュール登録を行うことが可能となる。

40

【0009】

次回会議予定を変更する場合は、以下のように実施する。まず議事録管理システムより対象となる会議の議事録を呼び出す。議事録には変更項目入力欄を設けておき、変更とな

50

った「次回会議名」、「次回会議出席予定者」、「次回会議開催日時」、「次回会議開催場所」の情報を議事録管理システムに入力する。入力した情報によるスケジュール登録は、上記と同様に行う。この時前回登録したスケジュール情報が存在するので、スケジュール登録依頼と併せてスケジュール削除依頼を送信する。この変更は、新規スケジュール登録として処理するのではなく、各出席者のスケジュール変更依頼として対象者名と新規日時と場所を送信することによって処理しても良い。

また、議事録の今後の検討項目の情報（担当者、期限日時を含む）の情報をスケジュール管理システムに送信し、スケジュール管理システムの持つ個人毎の懸案項目やイベント項目に今後の検討項目を登録しても良い。この時、担当者がスケジュール登録対象者、期限日時が検討項目を登録する日時となる。

10

【発明の効果】

【0010】

本発明の議事録管理システムは、以上のようにスケジュール管理システムと連動してスケジュール登録処理を行う機能を持つので、次回会議予定を議事録管理システムに登録すればスケジュール管理システムへの登録が自動的に行われ、これまでの運用におけるスケジュール管理システムへの登録作業、会議室の予約といった運用負担を軽減する効果を奏する。

【0011】

また、議事録と別にスケジュール管理システムに情報を入力することによるスケジュールの登録漏れ、登録内容誤り等を防止する効果を奏する。また、議事録管理システムから会議予定の変更を行うことにより、変更ミスが少なくなりかつ議事録とスケジュールの対応付けを保つことが可能となる。

20

【発明を実施するための最良の形態】

【0012】

以下、本発明の一実施例を図面を用いて説明する。

図1は本発明の一実施例を示すスケジュール管理システムと議事録管理システムの構成図である。101はスケジュール管理システムであり、102は議事録管理システムである。103は利用者からの入力の受付や、ネットワークを介してスケジュール管理システム101、議事録管理システム102とのスケジュール情報や議事録情報の授受、画面表示等を行うクライアントコンピュータである。スケジュール管理システム(101)に含まれるテーブルは次のとおりである。104はスケジュール管理システムに登録されているユーザの情報を管理するユーザ管理テーブルである。105は会議室の予約状況を管理する会議室情報テーブルである。106は予約を行うユーザや会議室の情報、日時、場所の情報、その日に行うイベントの内容等の情報で構成されるスケジュールデータを格納するスケジュールテーブルである。107は変更されたスケジュールの前のスケジュールデータを格納する変更スケジュールテーブルである。スケジュール管理システム(101)は、それぞれのテーブルにアクセスして処理を行う手段であるユーザ管理部(111)、会議室情報管理部(112)、スケジュール管理部(113)、変更スケジュール管理部(114)を備える。議事録管理システム(102)に含まれるテーブルは次のとおりである。108は当該会議名、出席者、実施日時、実施場所、議事内容等で構成される議事情報を格納する議事情報テーブルである。109は、次回会議予定の情報を格納する会議予定情報テーブルである。110は、今後の検討項目の情報を格納する検討項目情報テーブルである。議事録管理システム(102)は、それぞれのテーブルにアクセスして処理を行う手段である議事情報管理部(115)、会議予定情報登録部(116)、検討項目情報登録部(117)からなる。尚、議事録管理システム(102)とスケジュール管理システムは、使用者のユーザID/パスワードの情報を共有するものとする。

30

40

【0013】

図2は、議事録管理システム(102)の会議予定情報登録部によって更新される会議予定情報のデータテーブルの例である。会議予定情報としては、少なくとも、議事録管理システムから議事録を登録する際に付与される議事録ID(201)、次回会議名(20

50

10)に格納される。

【0019】

図6に、図5の入力フォーマットを用いて議事録管理システム(102)に議事録を登録し、次回会議予定がスケジュール管理システム(101)に反映された結果をクライアントコンピュータ(103)で表示した画面例を示す。左上部に日付(601)、縦軸にユーザ(604)と会議室(604)、その日に行う項目を示すイベント欄(602)、横軸に時間(603)を示している。606~612はスケジュールデータを示しており、画面には会議名が表示されているが、それぞれ時刻、行先、メモ欄等の情報を持つ。ここでは、先頭に“ ”が付与されているスケジュールデータが議事録の登録により更新された情報である(実際には“ ”は表示しない)。

10

【0020】

図5の入力フォーマットを用いて次回会議予定の変更を行う場合は、議事録フォーマットの会議予定変更欄の項目に入力した後、変更ボタン(521)を押下すれば、以下に示す図7のフロー図に従い、変更されたスケジュールの内容が図6の画面に反映される。

図7に、議事録管理システム(102)で図5のフォーマットから会議の変更の情報を入力し、スケジュール管理システム(101)でスケジュールの変更が行われるまでの流れを示す。最初に、議事録管理システム(102)で次回予定を変更する議事録を呼び出し、表示する(ステップ701)。次に次回会議予定の変更情報を入力した後、変更処理を行う(ステップ702)。この時点で、変更後の次回会議予定の情報は会議予定情報テーブル(110)に格納される。ここで、議事録フォーマットの変更欄に次回開催日、次回開催時間、次回開催場所が入力されているか、すなわち会議予定情報テーブル(109)に次回開催日(204)、次回開催時間(205)、次回開催場所(206)のデータが格納されているかの判定を行う(ステップ703)。

20

すべてが格納されている場合は、スケジュール管理システム(101)にログインID/パスワードの情報を送信してログインし、会議予定情報テーブル(109)の次回開催日(204)、次回開催時間(205)、次回開催場所(206)の情報と会議室の検索依頼を送信し、会議室の予約状況を確認する(ステップ704)。検索した会議室に先約があるか判定し(ステップ705)、先約がなければスケジュール管理システム(101)に会議室の登録依頼を送信する(ステップ706)。会議予定情報テーブル(109)に上記のデータのいずれかが格納されていない場合と、格納されているが先約があった場合には、次回開催日時、次回開催場所等のいずれかの情報と会議室の検索依頼を送信し、空いている会議室を検索する(ステップ707)。検索して得られた情報は、次回会議予定変更欄に入力し、改めてスケジュールの変更を行う。

30

【0021】

次に、前回予約した会議室の予約の取り直し依頼を送信する(ステップ708)。次に、会議予定情報テーブル(109)の情報とスケジュール登録依頼を送信し、変更後の次回出席予定者のスケジュールへの登録を行う(ステップ709)。最後に、前回登録したユーザのスケジュールの削除依頼を送信する(ステップ710)。

【0022】

以上、本発明の一実施形態について説明したが、会議中に次回開催場所を出席者にアナウンスするために、会議中に議事録を作成し、作成中に次回開催日時の会議室の空き状況を検索し、予約するようにしてもよい。

40

【0023】

また、スケジュール管理システム(101)においてスケジュールの二重登録が出来ない場合、次回出席予定者のスケジュールに先約があった場合は、登録不可の旨の情報を返信しても良い。

また、本実施例ではスケジュール管理システムにスケジュールの変更を管理する変更スケジュールテーブル(107)が備わっていることを仮定したが、備わっていない場合は、議事録管理システム(102)にスケジュールの変更を管理するテーブルを用意し、スケ

50

ジュールの変更を行う際は、そのテーブルの情報をスケジュール管理システム(101)に送信するようにしても良い。

【0024】

また、本実施例ではスケジュール管理システム(101)に会議室の検索、予約を行う機能が備わっていることを仮定したが、スケジュール管理システム(101)と会議室の検索、予約を行うシステムが別であってもよい。

また、本実施例では会議予定情報テーブルは、議事録ID、次回会議名、次回出席予定者、次回開催日、次回開催時間、次回開催場所が備わっていること仮定したが、これらの項目のうちの一部の項目がないテーブルとしても良い。例えば次回開催時間の項目がないテーブルの場合は、次回開催日のイベント項目への登録依頼を送信することとすればよい。

10

【図面の簡単な説明】

【0025】

【図1】スケジュール管理システムに議事録管理システムを連動させる機能の概要図。

【図2】会議予定情報テーブル(109)において格納される情報を示す図。

【図3】検討項目情報テーブル(110)において格納される情報を示す図。

【図4】議事録の登録からスケジュールの更新までの流れを示すフロー図。

【図5】議事録の入力フォーマットを示す図。

【図6】登録したスケジュールデータを示す画面の図。

【図7】次回会議予定の変更を行う流れを示すフロー図。

【符号の説明】

20

【0026】

101：スケジュール管理システム

102：議事録管理システム

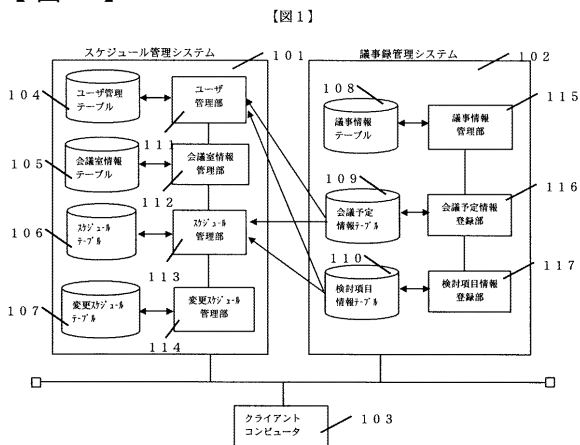
109：会議予定情報テーブル

110：検討項目情報テーブル

116：会議予定情報登録部

117：検討項目情報登録部

【図1】



【図2】

【図2】

議事録ID	次回会議名	次回出席予定者	次回開催日	次回開催時間	次回開催場所	...
DR0001	第2回懸案会議	A課長 B主任 C主任	2003/03/17	13:00~15:00	会議室A	...
DR0002	第5回レビュー	C主任 D担当	2003/04/30	13:00~15:00	会議室B	...
:	:	:	:	:	:	:

【図5】

【図5】

議事録入力フォーマット

5 0 1 会議名: 第1回懸案会議

5 0 2 実施日時: 2003/03/01 15:00~17:00 実施場所: 会議室A

5 0 4 出席者: A課長、B主任、C主任、D担当

5 0 5 内容: 1. 機器構成について
1.1 クライアントのスペックについて

5 0 6 資料名: ・アプリケーション処理方式図
・業務機能定義書

5 0 7 次回会議名: 第2回懸案会議

5 0 8 次回出席予定者: A課長, B主任, C主任

5 1 0 次回開催日: 2003/03/17 次回開催時間: 13:00~15:00

5 1 1 次回開催場所: 会議室A

5 1 2 今後の検討項目: Xについて確認, Yの案を作成

5 1 3 担当者: A課長, C主任

5 1 4 期限: 2002/03/17, 2003/03/15

5 1 6 【変更】次回会議名:

5 1 7 【変更】次回出席予定者:

5 1 8 【変更】次回開催日: 【変更】次回開催時間: 【変更】次回開催場所:

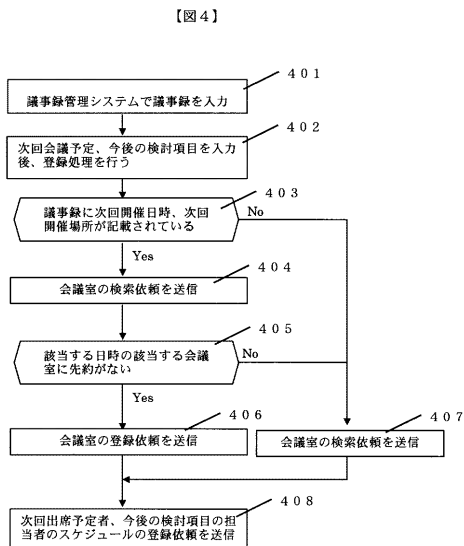
5 1 9 5 2 0 5 2 1 変更

【図3】

【図3】

議事録ID	今後の検討項目	担当者	期限	...
DR0001	Xについて確認	A課長	2003/03/17	...
DR0002	Yの案を作成	C主任	2003/03/15	...
	Zについて確認	D担当	2003/04/01	...
:	:	:	:	:

【図4】



【図6】

【図6】

2003/3/1	イベント	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00
A課長	※ Xについて確認								※ 第2回懸案会議	
B主任				会議A					※ 第2回懸案会議	
C主任									※ 第2回懸案会議	
会議室A				会議B					※ 第2回懸案会議	

【図7】

